

自己評価結果公表シート(令和6年度)

学校法人 服部天神宮学園 服部幼稚園

1 本園の教育目標

「感謝の心とやる気を育てる」ことを教育の目標として、次の幼児像「敬神感謝の心を持ったあたたかい子ども・意欲を持って学習や遊びに参加する子ども・友だちと仲良くしてよい習慣を身につけていく子ども・まわりのことがらに関心をもち表現を豊かにする子ども」を掲げ、のびのびとした保育に取り組む。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・今年度より幼稚園型認定こども園に移行し、職員の制度に対する理解を深めていく。
- ・2号認定児を受け入れることにより、職員や保育室を充足し、子どもが安心して過ごすことができる環境構成を構築させる。
- ・個々の子どもの発達を理解し、主体的に子どもが活動できるように保育内容や環境構成を充実させる。
- ・入園パンフレットやホームページのリニューアル化を図り、地域の方や保護者に園の保育内容を、より分かりやすく情報発信をする。

3 評価項目と取組状況

評価項目	取り組み状況
預かり保育の充実	幼稚園型認定こども園に移行し、2号認定児を担当する教職員や保育室を充足し、縦割りでの保育を充実させ、子どもが安心して過ごせる環境構成を構築させた。
幼児への対応と教職員間の連携	教職員間の連携を強化し、教職員が個々の子どもの特性を共通理解し、発達に合わせた対応に努めるよう、園全体で取り組むことができた。
情報発信のリニューアル化	保育内容を見直し、わかりやすい言葉で言語化し、入園パンフレットやホームページのリニューアル化を図り、地域の方や保護者に園の保育内容をより分かりやすく情報発信をすることができた。
保育内容・環境構成の充実	個々の子どもの発達を理解し、主体的に子どもが活動できるように、職員間で話し合いを重ねて、保育内容や環境構成の充実に努めた。
子育て支援の取り組み	幼稚園型認定こども園に移行し、更に子育て支援を強化する機会を充実させた。特に、保育室を開放して、地域の0歳児・1歳児の親子が参加できるプログラムは、同じ年齢の子どもを持つ親の交流の場にもなり、充実した取り組みとなった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度より、幼稚園型認定こども園に移行し、2号認定児を受け入れ、預かり保育利用者が増加したことにより、預かり保育担当の教職員や保育室を充足し、縦割り保育を充実させて、長時間幼稚園で安心して過ごすことができる環境を構築することができた。また、クラス担任と預かり保育担当教職員と連携をとり、個々の子どもの発達を理解し、丁寧にかかわることができた。

入園パンフレットやホームページをリニューアルする中で、教育理念や保育内容をわかりやすい言葉で言語化することにより、保護者の方に幼稚園の保育内容の理解をより深めて頂けた。

日々、子どもの育ちを大切にし、取り組むべき課題について十分に話し合う機会を設け、実践する努力をすることにより、保育内容や環境構成の充実に図ることができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
預かり保育の充実	2号認定児および新2号認定児が増加する中で、保護者のニーズにも対応し、更に教職員の連携を強化して、子どもが安心して過ごすことのできる環境構成を充実させる。
保育内容の充実	子どもが主体的に活動できるように、各学年で年間のカリキュラムを見直し、保育内容や環境構成を構築させる。
気候変動による行事の対策	年々気温が上昇する中、七夕祭りや運動会などの行事の熱中症対策を徹底して、綿密に計画を立てて実施する。

6 学校関係者評価

幼稚園型認定こども園に移行し、預かり保育の充実や、教育理念に基づいた伝統行事を重視した教育内容が充実していることがよく理解できる。また、行事の際には近隣への細かい配慮も感じられる。園内が常に清潔に保たれていることや、教職員が日々努力して、個々の資質向上に努めていることが評価できる。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。